

どこかの風景
伽藍堂

男は公園に居る。男はスーツを着ている。公園には母親達とその子供達が居る。男はベンチに座っている。母親達は立ち話をしている。子供達は砂場と遊具で遊んでいる。男は額から汗を流している。男はスーツの上着を脱ぎベンチへ掛ける。母親達は立ち話をしている。子供達は砂場と遊具で遊んでいる。男は頭を上げ空を仰ぐ。男は顔を正面へ向ける。母親達は立ち話をしている。子供達は砂場と遊具で遊んでいる。男は虚ろな表情で公園を見渡している。男は鞆から水筒を取り出す。男は水筒から茶を飲む。母親達は立ち話をしている。子供達は砂場と遊具で遊んでいる。水筒は空になる。男は水筒を覗き込む。男は水筒を鞆へ仕舞う。母親達は立ち話をしている。子供達は砂場と遊具で遊んでいる。男は虚ろな表情で公園を見渡している。男は額から汗を流している。男は額から汗を流している。男は額から汗を流している。男は額から汗を流している。男は額から汗を流している。男のシャツが汗で濡れている。母親達は立ち話をしていて。女の子が男の前を走って横切る。女の子は木々の方へ向かう。男は女の子を見る。母親達は立ち話をしている。子供達は砂場と遊具で遊んでいる。女の子は木々のほうへ向かう。男のシャツが汗で濡れている。

女の子は木の裏でスカートの下のパンツを下ろす。女の子は腰を落とししゃがむ。男は少女を仰向けに倒す。男は少女の股間に頭を埋める。男は少女の未発達の部分に舌を這わせる。少女は小さく声を上げる。男は少女の未発達の部分に舌を這わせる。少女は小さく声を上げる。男は少女の未発達の部分に舌を這わせる。少女は放尿する。男は口を開き少女の尿を咽喉へ注ぎ込む。少女は放尿する。男は口を開き少女の尿を咽喉へ注ぎ込む。男の咽喉仏が上下する。少女は放尿する。男のシャツが濡れる。男は顔面に水を受ける。男は水飲み場の蛇口を閉める。母親達は立ち話をしている。子供達は砂場と遊具で遊んでいる。男は水飲み場を離れベンチへ向かう。木の裏に隠れていた女の子が鬼に見つかる。男はベンチの鞆と上着を持つ。母親達は立ち話をしている。子供達は砂場と遊具で遊んでいる。鬼に見つかった女の子が男の前を横切る。男は女の子を見る。母親達は立ち話をしている。子供達は砂場と遊具で遊んでいる。男は公園の出口へ向かう。母親達は立ち話をしている。子供達は砂場と遊具で遊んでいる。男のシャツは水と汗で濡れている。

男は病院に居る。男はスーツを着ている。男は待合室に居る。待合室には老人達と親子連れが居る。老人達は話をしている。老人が診察室から出てくる。老人はソファアに座る。名が呼ばれ老人が診察室へ向かう。老人達は話をしている。男は診察室を見回している。女の子は母親に話しかける。母親は雑誌のページをめくっている。老人達は話をしている。男は診察室を見回している。老人達は話をしている。玄関の扉が開き老人が待合室へ入ってくる。老人は受付へ向かう。女の子は母親に話しかける。母親は雑誌のページをめくっている。老人はソファアに座る。男は診察室を見回している。女の子が男の前を横切る。女の子はトイレへ入る。女の子はズボンとパンツを下ろす。男は女の子を洋式のトイレへすわらせる。男は少女の股間に頭を埋める。男は少女の未発達の部分へ舌を這わせる。少女は小さく声を上げる。男は少女の未発達の部分へ舌を這わせる。少女は小さく声を上げる。少女は小さく声を上げる。男は少女の未発達の部分へ人差し指を這わせる。少女は小さく声を上げる。男は少女の未発達の部分へ

分へ人差し指を這わせる。少女は小さく声を上げる。男は少女の未発達の部分へ人差し指を押し込む。男の人差し指は第一関節まで少女に埋もれる。男は人差し指を動かす。少女は小さく声を上げる。男は人差し指を動かす。男の人差し指が粘液で光る。少女は小さく声を上げる。男の人差し指は第二関節まで少女に埋もれる。少女は小さく声を上げる。男は人差し指を動かす。男の人差し指が粘液で光る。少女は小さく声を上げる。男の人差し指は根元まで少女に埋もれる。男は人差し指を動かす。少女は小さく声を上げる。男は少女に埋もれる指を増やす。少女は声を上げる。男の指が粘液で光る。男は指を動かす。少女は声を上げる。男の指が粘液で光る。男の五指は根元まで少女に埋もれる。少女は声を上げる。男の首は粘液で光る。男の前腕は肘まで少女に埋まっている。少女は大きな声を上げる。男の前腕が粘液で光る。男の前腕は肘まで少女に埋まっている。前腕への圧力が弱まる。画面には血圧が表示されている。老人達は話をしていく。男は血圧器の椅子からソファへ戻る。女の子は選んだ絵本を母親に渡している。老人達は話している。男は待合室を見渡す。老人が診察室から出てくる。男の

の部分で丹念に舐める。少女は声を上げる。男は少女の未発達の部分に人差し指を埋める。男は人差し指を幾度と無く動かす。男の指は粘液で光る。少女は声を上げる。男はズボンとパンツを下ろし屹立した自身を露出する。男は少女の股間へと腰を埋める。『おい、何をしている』『昨年死んだ父親の声が鳴り響く。男の眼下にはワンピースを来た少女が横たわっている。少女は猿轡をしている。少女の手首と足は縛られている。男は口元を歪める。男は少女へ腕を伸ばす。少女は振りほどこうと身体を揺らす。男は少女のワンピースのボタンを引きちぎる。男は少女のパンツを破り取る。男はズボンとパンツを下ろし屹立した自身を露出する。『おい、何をしている』『草叢ががさがさと鳴っている。男は口を歪める。男は少女の股間へと腰を埋める。『おい、何をしている』『昨年死んだ父親の声が鳴り響く。草叢ががさがさと鳴っている。

どこかの風景

初出 『混凝土の隙間と奇譚集』 2008年12月30日 発表

2010年5月9日 公開

著者 伽藍堂

編集人 今出川潤

連絡先 vert@bugyo.tk

企画・制作 ver.T

<http://vert.bugyo.tk/>

このお話はフィクションです。
本作品に関する諸権利は著者自身に帰属します。
転載、引用される場合は著者および出典の表示をお願いします。